



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/289
即時解禁
2011年7月21日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による、ユーロ圏首脳会議に関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、ブリュッセルにて以下の声明を発表した。

「IMF は、ユーロ圏首脳と欧州連合 (EU) 機関による本日の決定を歓迎する。これらの措置は、ギリシャ及びユーロ圏の成長並びに金融の安定性を支える上で、大きな意味を持つものである。

なかでも、ユーロ加盟国がより好ましい条件の下で融資を行い、またプログラム実施国に対し、プログラムの成功裏の履行を条件に、当該国が市場アクセスを回復するまで支援を継続するとしたコミットメントを支持する。同時に、民間部門によるギリシャ支援に向けた自発的な取り組みは大きな励みである。これら措置が、ギリシャの成長の回復及び債務の持続可能性の改善に資するとともに、市場アクセスの回復の基盤となることを期待する。

ギリシャ当局によるプログラムの敢然たる実行、及び各国のギリシャ支援への断固たる決意を基に、IMF は今後も、理事会の承認のもとポリシーと整合的に、果たすべき役割を全うする。

さらに、我々は、欧州安定化ファシリティ (ESFS) の柔軟性の向上を目指す本日の包括的な措置を支持し、その早急の実施を期待する。また、我々は、ユーロ圏の財政再建及び成長の強化に向けた措置を歓迎するとともに、経済ガバナンスの深化にむけた法案の早急な取り纏めを期待する。

我々 IMF は、本日の諸決定は、ギリシャ・欧州のみならず、世界経済全般に重要な意味を持つと確信しており、これらを歓迎する」